

## 会員の声

## 和知の自然と園児達

片山 久恵 (小畑)

主人の実家である和知に帰って来て5年になります。今までは、京都市内で喫茶店をやっていましたが、帰るのをきっかけに店をやめました。しばらくは、自然の中でゆったりとした日々を過ごしていましたが、何かものたりなくなり働きたいと思うようになりました。そんな時、シルバー人材センターだよりを見て「これだ!」と思い入会させていただきました。しばらくして、センターから和知エンジェルの用務員のお話をいただき、お世話になることになりました。

かわいい子どもの声を聞きながら仕事をさせていただいています。園長先生から「片山さん、まだ10年はがんばってね」と言ってもらい、私もまだ若いかなーと、一人で喜んでいきます。素敵な職場を紹介していただき本当に感謝しています。

これからも健康に気をつけて、一日も長くつとめたいと思っています。

## 72歳・亥年に寄せて

山内 定夫 (質美)

今年は6度目の年男、亥年を迎えました。

終戦間もなくして生まれ貧困の時代を生きぬき、幼少期は現代のような多種なお菓子類もなく、母親がつくってくれた大豆を引き粉にし、キナコに砂糖をまぶしたおやつがなよりの好物であったこと、かすかに残像として頭の片隅に残っています。

記憶がある年ごろから半世紀以上、もう60数年が経ち飽食の時代へと移り変わりました。

今でも小学校の先生、親から教えられた「もったいない」という気持・意識が先走り、食事は残さず食べる。モノを大切に使い、捨てずして直し修繕して再利用する習慣がなかなか消えない世代です。

シルバー人材に登録し、瑞穂農林さんでお世話になり、まる2年が経過しました。

きのこ生育業務の過程に携わっていますが、約16kgあるボトル入ケースの積み降ろしには当初、さすがに腰にきました。以前のサラリーマン時代は医療関係の営業職であったことで、継続して重量物を扱う作業の経験はなく戸惑いもありました。1昨年の12月、これだけ腰に負担がかかればと案じる矢先、ギックリ腰を患い医者から要安静の宣告。

少々ノリを押し、1週目から自然公園での歩行訓練と施設での整体、温浴を続けた結果、1ヶ月で仕事復帰できました。

結構キツイ仕事ではありますが、「1日無事勤め上げられたことへの感謝、年を意識せず、体力維持・健康のため」と自分に言い聞かせ、老いを深めながらも働く方々との交流も大切に、仕事ができる幸せを感じる毎日です。

## 夜間管理業務に従事して

東 弘良 (グリーンハイツ)

私は、シルバー人材センター会員としてお世話になり約10年近くになりました。

現在は、京丹波町中央公民館の夜間管理業務に従事させて頂いています。

この中央公民館を使用する方々は、昼間の仕事を終えた後、疲れているにもかかわらず各種会合やサークル活動に参加されている人達です。

私は、この方々に少しでも気持ちよく快適に使用して頂きたいと思っています。

そうした思いから、冬期、夏期における使用日には、事前に部屋の冷暖房のエアコン等を起動して快適な状態にするように心掛けています。来訪者に対しては、元気な挨拶に心掛けています。声をかけることにより、対話が深まることがあります。そうした気持ち、行動が双方に何ともいえない安心感、信頼関係が生まれます。今後もこの気持ちを忘れず管理業務を実践していきたいと考えています。



田代 良孝 (上野)